

紀北町立幼稚園・小中学校における熊目撃情報確認時の警戒態勢と指導について

紀北町教育委員会

秋の気配が広がる季節を迎えました。保護者のみなさまにおかれましては、日頃より学校教育の安全と充実にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この夏以降、紀北町は熊の発見が続き、負傷された方がみえることから、現在クマ警戒アラートが出ています。このことを受けて、紀北町は現在、子どもたちの安心と安全を守るために、次のような指導と取組を行っております。保護者のみなさまにおかれまして、引き続きご理解とご協力いただけますようお願い申し上げます。

記

1 現在の取組の目的

クマ警戒アラートが出ている中、持続的・効果的に安心安全を守るために、学校・保護者・地域の方々・紀北町が連携して警戒と予防教育に取り組めます。

2 子どもたちへの予防教育と支援

(1) 予防教育について

- ① 登下校のときや、野山付近の自然観察・体験学習の時には、クマ鈴を身に着けましょう。

メモ

- ・通常、クマは人の気配を感じると、その場を離れようとします。
- ・熊鈴を身につけていると、その音によりクマに襲われる可能性が下がります。ただし、クマ鈴だけに頼ることのないように注意しましょう。

- ② 学校では、「クマに注意！（環境省）」などの教材を活用して、以下の項目について安全確保のための3つの予防教育に取り組めます。

1) 「クマの特性を学びましょう」

- ・活動期や、どういう餌を求めて行動しているのかを知っておく。
- ・クマをおびき寄せる環境を改善する。

(可能な限り、しげみや、餌となるものを撤去)

参考 クマの食物の9割以上は植物。

秋は、ドングリや木の実をたくさん食べる。

蜂蜜は大好物。

2)「自らの安全確保の方法を学びましょう」

- ・クマの目撃情報があった場合は、なるべく近づきません。
- ・夜間や早朝の時間帯や、しげみのそばをとる場合は、登下校時以外でもクマ鈴を身に着けましょう。

3)「クマに出くわした場合の対応を学びましょう」

遠くでクマを見かけた場合

⇒ クマを驚かさないように大きな声(悲鳴)を出さずに、その場から走らずに離れましょう。 落ち着くことが大切です。

近くにクマがいることに気づいた場合

⇒ クマに背を向けず、ゆっくり落ち着いて、その場から離れましょう。

クマと目の前で出会った場合

⇒ 慌てて急に走るとクマが驚いて攻撃することがあるので、慌てずクマが立ち去ってから、その場を離れましょう。
突発的に襲われたら、両腕で顔や頭をガードしましょう。

(2) 警戒体制について

- ① クマの目撃情報があった場合、翌日は、警察が1車2名体制で目撃場所付近に立ち、警戒を行います。三重県と紀北町も連携して、いずれかの機関が警戒に加わります。
- ② クマの目撃情報が1週間以内に同じ地域内で目撃された場合、その日から3日間、(1)と同じ体制で警戒にあたります。警戒中、見守り者は熊スプレーを携帯します。
- ③ クマ警戒アラートが出ている期間を含めて当面の間、保護者は人通りが少ない箇所を一人登校させる場合、必要に応じて車での登下校を許可します。朝の学校敷地内は時間帯により混雑するため、学校近くの安全な箇所でお子様を下車させるなどにご協力ください。

3 広報活動

- (1) クマの目撃情報が農林水産課に入った場合は、30分間以内をめぐり、防災行政放送で情報をお知らせしています。
- (2) 学校下校時刻近くに、人気の少ない通学路周辺で熊の目撃情報が出た場合、学校は集団下校などの対応や、状況により保護者引き渡しとする場合があります。こうした対応をする場合は、学校緊急電話連絡網を使ってメール配信をいたします。